

さいたま市文化財時報

かや
榎りぼーと

第70号

国指定特別天然記念物「田島ヶ原サクラソウ自生地」
保存管理の取り組み

「田島ヶ原サクラソウ自生地」は、サクラソウ自生地としては唯一の国の特別天然記念物です。

荒川の河川敷に広がる約4.1haの自生地には、サクラソウをはじめ様々な植物が生育しています。桜区の花、さいたま市の花、埼玉県の花である「サクラソウ」は、この田島ヶ原のサクラソウに因むものです。大正9年(1920)に「土合村桜草自生地」の名称で天然記念物に指定されて以来、今日まで大切に守られてきました。

しかし、周辺環境や気候の変化など様々な要因により、近年はサクラソウの株数が減少してきています。サクラソウの減少に歯止めをかけるため、さいたま市では埼玉大学の協力を得ながら、様々な取り組みを行っています。



▲開花期のサクラソウ

I 調査

・生育状況調査(4月)

自生地内に10m×10mの調査枠を11ヵ所設置し、その調査枠内の生育個体数を数えています。そして、1調査枠あたりの生育個体数平均から、自生地全体の生育個体数を推定しています。サクラソウの推定生育個体数は平成15年をピークに減少しており、平成30年の調査による推定生育個体数は66万株でした。

・植生調査(4月～10月)

自生地内に1m×1mの調査枠を30ヵ所設置し、その調査枠内に出現する植物を記録しています。これにより、自生地内にどのような植物が生育しているのか記録し、管理作業に反映しています。



▲サクラソウ推定生育個体数の増減

II 管理作業

・外来植物等の抜き取り(4月～10月)

自生地の生態系を守るため、外来植物の抜き取りを行っています。また、在来植物の中でも、繁殖力が強く、サクラソウの生育を妨げるものについては間引き等を行っています。

抜き取りや間引きの対象とする植物は、植生調査の結果も考慮に入れて決定しています。

・草焼き(12月～1月)

サクラソウの春期の芽吹きを助けるため、冬枯れしたオギやヨシ等を焼却します。草焼きには、自生地の植生が草原から森林へと遷移するのを停滞させるという役割もあります。



▲外来植物等の抜き取り作業

かつて自生地は茅場^{かやば}となっており、オギやヨシは屋根の原材料として刈り取られていましたが、生活様式の変化から茅が不要となり、刈り取りが行われなくなりました。そこで、昭和30年度から草焼きを開始しました。それ以後、何度か中断を挟んで、今日まで継続しています。

平成28年度からは、草焼き実施前に自生地全体のオギやヨシ等を人間の腰の高さ程度に刈り払っています。これにより火が燃え広がりやすくなり、周辺地域への降灰の影響も減少しました。



▲刈り払い



▲草焼き

Ⅲ 新たな取り組み

・サクラソウと競合する植物の抑制(4月～10月)

外来植物等の抜き取りに加え、平成29年度より、サクラソウの生育を阻害していると思われるノウルシとコバギボウシの抑制を進めています。

ノウルシは、サクラソウとほぼ同時期に咲く黄色い花です。サクラソウの開花期であっても、背の低いサクラソウはこのノウルシに覆われてしまいます。その一方で、ノウルシ自体も絶滅が危惧される植物であることから、上部のみの刈取りにより生育を抑制しています。コバギボウシは、夏期に紫色の綺麗な花を咲かせますが、春期から夏期にかけて長期に渡りサクラソウを覆い、光合成を阻害しています。コバギボウシは自生地内に広く繁茂^{はんも}しており、絶滅危惧種等には指定されていない事から、抜き取りや地表近くからの刈取りによる間引きを行っています。



▲ノウルシ



▲繁茂するコバギボウシの葉

田島ヶ原サクラソウ自生地という貴重な文化財を後世に引き継いでいくため、今後も有効な対策を模索し、保全の取り組みを進めてまいります。なお、さいたま市のWebサイトにて、自生地の四季の様子や季節の植物について紹介しております。併せてご覧ください。

お知らせ

□国指定史跡 真福寺貝塚発掘調査現地見学会

真福寺貝塚では、今後の整備に向けた発掘調査を実施しており、その成果を現地で紹介します。

日時：平成30年10月27日(土) 1回目：10時～11時30分 2回目：14時～15時30分

場所：真福寺貝塚発掘調査現場(岩槻区城南三丁目)

事前申込不要。駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

□最新出土品展 開催中 見学無料

最新の出土品を展示し、発掘調査の成果を紹介しています。さいたま市立博物館での展示は、9月11日(火)～9月24日(祝)で終了し、今後は下記の日程で市内を巡回します。なお、会場によって展示資料が異なります。

会場	期間	時間
七里コミュニティセンター 1階 出合い・ふれあいコーナー	10月2日(火)～10月30日(火)	9時～21時30分
コクーンシティ2 3階	11月10日(土)～11月22日(木)	10時～21時

□「茶」に関する出土資料の展示

さいたま市生涯学習「学びのネットワーク」事業の一環で「茶」に関する出土資料を展示します。

会場	期間	時間
さいたま市役所 文化財保護課カウンター	10月5日(金)～11月16日(金) (土、日、祝日は閉庁)	8時30分～17時15分
与野文化財資料室	10月5日(金)～11月16日(金) (10月8日、11月3日は休館)	9時～16時

詳しくはさいたま市の Web ページをご覧ください。文化財保護課(☎829-1724)までお問い合わせください。

さいたま市内指定無形民俗文化財の公開カレンダー(平成30年10月～平成31年1月)

天候などにより日程が変更されることもありますので、詳しくはさいたま市の Web ページをご覧ください。文化財保護課(☎829-1723)までお問い合わせください。見学無料。なお、指扇の餅搗き踊り(市指定)は、今年度は休止です。

名称	日時・場所・内容
田島の獅子舞(市指定)	10月7日(日) ①15時～ 田島氷川社(桜区田島4-12-1) ②16時～ 四谷稲荷社(南区四谷3-7-34) 三頭の獅子が笛の音にあわせ、太鼓を打ちながら優美に舞います。
南部領辻の獅子舞(市指定)	10月14日(日) 13時～ 鷲神社(緑区大字南部領辻2914) 別名「竜頭の舞」、三頭の獅子による勇壮な獅子舞です。
岩槻の古式土俵入り(釣上地区)(国指定)	10月21日(日) 13時30分～、釣上神明社(岩槻区大字釣上220) 子どもたちが古くから伝わる土俵入りの型を披露します。
一山神社冬至祭(市指定)	12月22日(土) 14時～ 一山神社(中央区本町東4-10-14) 一年間の穢れを祓い、新年の無病息災を願う火渡りを行います。
日進餅つき踊り(市指定)	1月1日(祝) 0時～ 日進神社(北区日進町2-1194) 年明けの鐘とともに始まる餅つき踊りです。

さいたま市文化財時報

榎りぼーと

第70号

平成30年9月27日

《編集・発行》

さいたま市教育委員会 生涯学習部 文化財保護課
☎330-9588 さいたま市浦和区常盤6丁目4番4号
☎048-829-1723 ㊚048-829-1989
<http://www.city.saitama.jp/>